



社会福祉法人 三愛学園

児童養護施設 さんあい

平成28年度事業計画

神を愛し 人を愛し 土を愛す

目次

施設長より	3
社会福祉法人三愛学園28年度事業計画	4
創立40周年事業概要	5
さんあい28年度重点目標	6 – 7
各種委員会・会議	8 – 9
課題解決プロセス	10
主な研修一覧	11
リスクマップ	12
児童の事故等の緊急時連絡網	13
私の28年度	14
メモ欄	15

施設長より

さんあいの養育目標は、「思いやりのある子ども」です。この養育目標は、キリスト教の理念と当時の子どもたちの生育状況を鑑みて40年前に掲げられました。最近のある調査の中で、出産直後のお母さんたちに、「将来どんな子どもに成長して欲しいですか」という質問をしたところ、一番多かった答えは、「思いやりのある子ども」だったそうです。親が子どもに望む人格像は、時代を超えても変わらないものがあると感じます。

しかし、近年の社会的養護の必要な子どもたち生育状況を精査してみると、誰かに思いやられた経験の少ない子どもが多いと感じています。そのような子どもたちは、自己肯定感が低く、自分自身を思いやることができません。“どうせ俺なんか”というような捨て台詞をよく耳にします。聖書には、「あなた自身を愛するように、あなたの隣人を愛しなさい。」という言葉があります。この言葉を裏読みしてみると、“自分を愛せない者に、他人を愛することはできない。”とも読めます。

さんあいの養育目標を変える必要は感じていません。むしろ、職員としてさらに真剣に目標に向かって努力し進むべきです。そしてその第一歩は、子どもたちに日々の生活の中で、「自分は大切にされている。大人に思いやられている。」ということを実感してもらうような養育を日々の生活の中で実践してゆくことです。

日々子どもたちと向かい合って生活することは、大変な仕事です。子どもたちの言動に心が傷つけられることも多々あるでしょう。しかし、そこで踏みとどまって子どもたちと関わる忍耐が、子どもたちに「自分は大切にされている。」ことを気づかせるのだと思います。そして、踏みとどまる経験が職員として人間として磨かれ、ひと回り大きく成長させてくれると思います。

平成28年度も、楽しいことや困難なことが沢山あるでしょう。でも、昨年より少しでも前進できることを期待しましょう。そして、子どもたちにとって忘れられない1年にしましょう。

平成28年度事業計画

社会福祉法人三愛学園事業計画

中期運営方針

- 1、「児童憲章」「児童福祉法」の理念に基づいて、児童養護施設・さんあいの養護内容とその実践を充実発展させるべく努力する。
- 2、全国児童養護施設長研究協議会で示されている方針より、特に以下の事項に焦点を当てて取り組む。
 - 被措置児童等虐待の根絶のための取り組みを強化する。
 - 職員の人材確保・育成・定着を図る。
- 3、平成25年度に実施した第三者評価より指摘された以下の事項の改善に取り組む。
中期事業計画の策定 ⇒ 設立40周年記念事業
人事評価制度の構築と実施
- 4、関係機関との連携を強化し、地域福祉への協力体制を強化する。
- 5、社会福祉法改正に伴う、法人ガバナンスの再構築を行う。

28年度事業計画

- 1、役員会等の実施
定例役員会（5月、3月）
臨時役員会（必要あるとき）
苦情解決第三者委員会（年2回）
- 2、創立40周年記念事業を実施する。（詳細は5ページ）
- 3、ファミリーホーム「茜の里」の安定的な運営を目指す。
- 4、次期3か年計画（平成29年度から平成31年度）を策定する。
- 5、第3者評価を実施する。

児童及び職員の概要

児童養護施設さんあい

- ・児童定員 35名
- ・職員数 常勤24名
施設長、副施設長、書記、児童指導員、保育士、臨床心理士、家庭支援専門相談員、
里親支援専門相談員、栄養士等

ファミリーホーム「茜の里」

- ・児童定員 6名
- ・職員数 常勤2名、非常勤1名
管理者、養育者、補助者

平成28年度事業計画

さんあい創立40周年記念事業実施計画

プロジェクト1 さいあいの歴史を振り返り、設立の精神を共有するプロジェクト

- ① 4月に記念誌（フォトブック）を発行する。
- ② 創立40周年記念式典を開催する。
 - 開催日 4月24日の午前（日）
 - 場所 さんあい地域交流ホール
- ③ さんあい入口の門柱を改修する。
- ④ 40周年記念創立記念祭（さんあい祭り）を開催する。
 - 開催日 5月29日（日）
 - 場所 さんあい

プロジェクト2 40周年を区切りに児童と職員のため養育環境を整えるプロジェクト

- ① 居室のテレビを新しいものに買い替える。（2015年12月に実施済み）
- ② グラウンドのフェンスに沿ってボール等が出ないようにバックネットを設置する。
- ③ 児童のために学習用のパソコンを設置する。

プロジェクト3 海外の施設の子どもたちへの支援と交流を行うプロジェクト

- ① タイの児童養護施設及び貧困地域の子どもたちへの支援を行う。
- ② 夏休み中（8月18日～22日予定）にタイのチャンタブリ県の小学校及びチョンブリ県の児童養護施設をさんあいの児童3名と職員2名が訪問し、子どもたちと交流の時を持つ。

プロジェクト4 支援者の拡大と地域交流を促進するプロジェクト

- ① ホームページやブログ等での発信やバザー等の企画で新規支援者の開拓を積極的に行う。
- ② さんあいの募金箱を設置する。
- ③ 「カフェさんあい」等のイベントを地域の子どもたちにも開放する。

児童養護施設さんあい重点目標

①「小生活単位養護」を認識し、養護内容・養護形態・職員体制の内容充実に取り組む

- ・生活単位ごとの養育環境作りを充実させる。（居室環境・食事・外出・娯楽など）
- ・児童の横の繋がりを強める為に年齢に合わせたグループワークを充実させる。
- ・職員配置基準の改善（小学生以上4：1）に対応した養護体制を確立する。
- ・40周年事業により、児童の養育環境の充実と新たな教育の機会を提供する。
- ・将来を見据えた各種委員会の再編成を行い活動の充実を図る。（詳細は8－9ページ）

② 入所児童の「安心」「安全」を常に担保すべく、職員と児童に子どもの権利と危機管理意識の醸成を目指す。

- ・子どもの権利擁護自己チェックシートを活用し、客観的な基準により自己覚知に努める。
- ・施設内虐待防止のために、職員を関連した研修に参加させ意識の向上を図る。
- ・施設内の事故や児童間の事故を防ぐために、生活の中で見守りと指導を徹底する。
- ・年間を通しヒヤリハットの活用を促し、事例の分析や評価を行い、事故防止に活用する。

③ 児童養護施設における自立支援機能の更なる充実を図る

- ・高校生を中心にNPOが主催する自立のためのセミナーや研修に積極的に参加させる。
- ・高校生を対象にファミリールームを活用し、自活訓練を実施し退所後の生活に備える。

④ 専門職及び関係機関との連携を一層強化し、児童の最善の利益を追求する

- ・治療的ケアに必要な児童に対し専門職を活用する。特に保育士と心理士との連携強化のために特にケアに必要な児童のために療育カンファレンスの場を定期的に持つ。
- ・地域及び学校との連携を深める。（小中学校との定期的な連絡協議会の実施）

児童養護施設さんあい重点目標

⑤ よりよい援助者として職員の資質向上を図る

- ・施設内会議や研修を通じて、職員としてのやりがいや責任感を向上させて行く。
- ・指導的な立場の職員や専門職による体系的な園内研修を導入し、職員育成に注力する。
- ・業績感謝制度（人事評価制度）を実施し、職員の強みや課題の気づきを促し成長に繋げる。

⑥ 社会的養護の広報につとめ地域の人々の理解を得る。また地域への貢献を充実させる。

- ・イベントの地域への開放、さんあい新聞やＨＰやブログにより積極的な広報活動を行い、社会的養護の必要な子どもたちの理解と支援者を増やす。
- ・『ショートステイ事業』の実施体制の充実を図り、地域の社会的養護の必要な子どもたちへの支援を促進する。
- ・ファミリーホーム「茜の里」へのサポートを行う。
- ・「子育て相談室」を継続し地域に定着させる。

平成28年度事業計画

28年度の各種委員会と会議

1. 各種委員会

児童養護を取り巻く環境の変化に対応するため、また現行の委員会をさらに強化発展させるために以下のようなチームを新設・改編し、其々の役割を担う。名称も委員会から、目的意識を向上させるために、タスクチームとした。

(タスクTaskは目的・課題などの意味)

名称	今までの役割	28年度からの役割	メンバー
広報委員会 ⇒広報タスクチーム	主にさんあい新聞の発行	広報の他に地域交流・貢献や支援者の開拓と管理を更に充実させる。さんあい新聞の他に、HP／ブログ、さんあい祭り、バザー、子育て相談室、子ども会、カフェさんあい等の運営管理も担う。	リーダー：松本 高瀬、赤羽、野田
給食委員会 ⇒食育タスクチーム		従来の食育の他に、月1回のあまり物で料理を作って食べる日（エコの日）の推進を担う。	リーダー：田中 青木主、長島、
危機管理委員会 ⇒危機管理タスクチーム	メンバーは担当とリーダー会議参加者 ヒヤリハット等、施設内啓発やマニュアル等の書類作成整理	さらに職員の意識を高め、事故防止を進める。定期点検の実施やヒヤリハット分析からのさんあいの危機管理状況を確認し、職員へのアドバイスとサポートの実施。	リーダー：高柳 高瀬の、野田、運営委員 *) 危機事態が発生した際は、危機管理対応チームを別途立ち上げて対応する。
園内研修委員会 ⇒職員育成・研修タスクチーム	さんあいで開催する研修の運営管理が中心	ペアレント・トレーニング、さんあいセミナーは継続し、更に大所高所から職員育成全般（施設の理念や養育目標、業務上の課題解決等）を目的として外部研修と内部研修の充実を図る。	リーダー：青木主 青木F S W、野田、浅野、猪爪、柳井、
性（生）教育委員会 ⇒生教育タスクチーム		基本は性（生）教育を中心。その他に子どもの社会での自立・自活を考え、SSTなど生きる教育全般を役割として入れる。	リーダー：天田 浅野、長島、青山、星野、新井、國分、河村、柳井、平松、増子、早野、高田
養育・働きかたタスクチーム	新設	さんあいの目指す家庭的養護を考えながら職員の協働、孤立化、抱え込み等の現行の働きかたの課題を洗い出し、改善案を施設長に提案する。	リーダー：青木主 高柳、浅野、猪爪、河村、増子

平成28年度事業計画

子どもの権利擁護タスクチーム	新設	さんあい入所児童の権利擁護のみならず、被虐待児や地域の貧困家庭の子どもの権利擁護の視点から、一時保護、ショートステイ、トワイライト事業等のニーズを把握し、施設として貢献できる体制や活動を施設長に提案する。	リーダー：高柳 青木F S W、高田
アフターケアタスクチーム	新設	退所児童のアフターケアの充実を目標として、児童や支援体制の課題を整理し、施設として可能な支援や体制を施設長に提案する。	リーダー：青木F S W 赤羽、青木主、長島、 野田、加藤

2. 各種会議

運営会議

日常の運営管理上の事項の討議や対応のみならず、中期計画策定とその実施状況の管理も行う。特に、28年度中に時期中期計画（3か年計画）を策定するので、上記のタスクチームと連携し、全職員の参加プロセスを考え、職員からの意見を統合して最終的に中期計画案をまとめ、理事会に提出する。

リーダー会議

現行通り。施設長、書記、主任、副主任、専門職の9名で構成され、児童の処遇に関わる情報共有及び検討事項の討議を行う。

ブロック会議

現行の内容の他に、特に心理的なケアや心理士との連携が必要と思われる児童に対して「療育ケースカンファレンス」の時を持つ。その際は、心理士、主任、F S Wの参加は必須とし、会議議事録に項目を設けて簡潔に記録する。

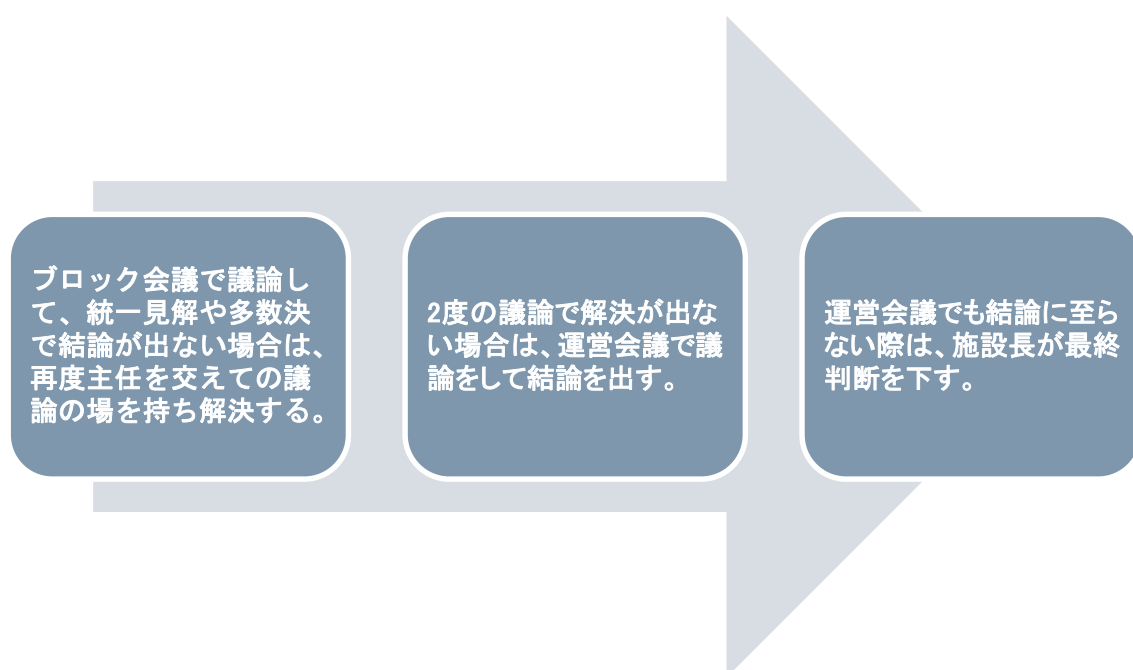
法人運営会議

茜の里を含む、法人全体の運営（財務、人事、法務等）の情報共有と課題を討議する。

さんあい課題解決プロセス

- 適応範囲

さんあいでは、ブロックというチームで児童の養育を担っているので、処遇に関わる課題解決のプロセスには、充分に意見を出しあって関係職員全員が納得できる結論を出すことが望ましい。ただ、課題によっては対応の期限が定められていて、緊急に結論を出さなくてはならない場合もある。以下に示すプロセスは、児童の処遇に関して緊急性が求められる課題の解決に適応される。（但し、危機管理対応の課題はこのプロセスの範囲ではない。）



- このプロセスを進める上での職員の心構え

- ① 一人一人が自分の意見をはっきりと明確に表明する。（沈黙は議論の妨げ）
- ② 多様な意見を真摯に受け止める。
- ③ 会議の場の感情は、会議の後には持ち越さない。
- ④ 司会者は、会議終了時間をあらかじめ設定し、スムーズな司会進行を心がける。参加者は司会者を助けて議論を進める。（お茶やお菓子の準備は不要）
- ⑤ 自分とは違う考えが結論になっても、チーム全体、施設全体の結論として尊重する。

平成28年度事業計画

さんあい職員の主な研修一覧（予定）

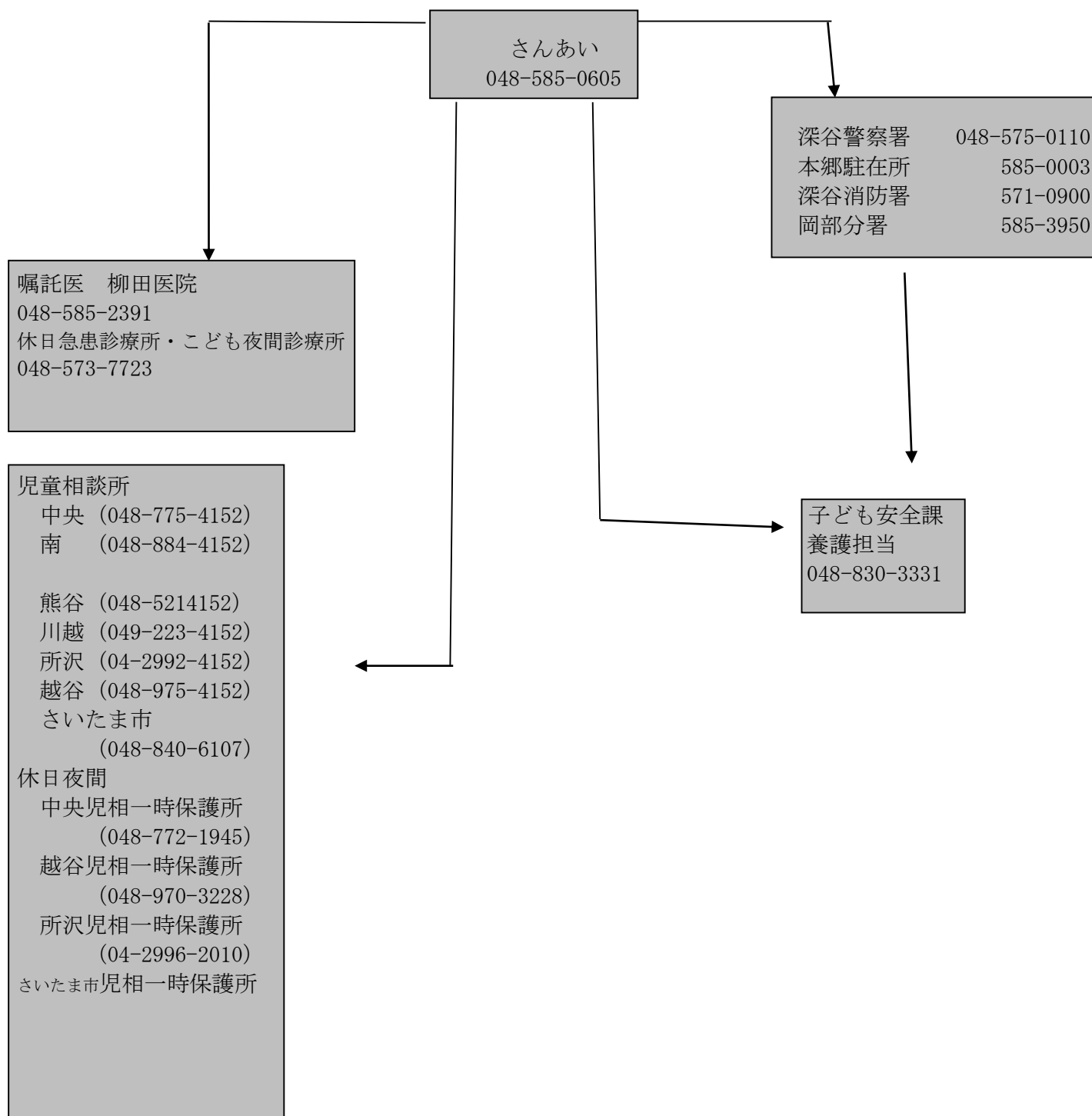
4月	施設内学習会①
5月	施設内学習会②、チームリーダーキャリアパス研修、人材育成研修、埼玉子どもを虐待から守る会講演会
6月	施設内学習会③、園内研修ペアレントトレーニング①、新任研修①、発達障害に関する研修、職員一泊研修
7月	施設内学習会④、園内研修ペアレントトレーニング②、主任級研修、心理職研修、関東ブロック施設長研修、
8月	埼玉研セミナー①、全国施設心理士懇話会
9月	施設内学習会⑤、園内研修ペアレントトレーニング③、施設間派遣研修事前学習会、基幹的職員研修、感染症専門研修、発達障害ステップアップ研修、財務管理担当者研修、キリスト教連盟子育てワークショップ、埼玉県施設士会管理者研修
10月	新任研修②宿泊、モチベーションアップ研修、人事労務管理者研修、スーパーバイザー養成研修、関東ブロック児童養護施設職員研修、県教育委員会児童虐待防止支援研修会、深谷市虐待防止講演会、メンタルヘルス講習会、OJTスキルアップ講習会
11月	施設内学習会⑥、さんあいセミナー①（藤井和子先生）、施設間派遣研修（2名）、アンガーマネジメント研修、職場研修担当者養成研修、全養協施設長会（70回記念大会）、児童養護施設職員指導者研修、NPOSTARS自立支援セミナー、テーマ別研修①
12月	施設内学習会⑦、施設長職員合同研修①、全養協東日本施設長研修会、児童福祉施設指導者合同研修、性教育秋季セミナー
1月	施設内学習会⑧、前年度新任フォローアップ研修、全養協中堅職員研修、熊谷児相管内児童福祉担当職員セミナー
2月	園内研修ペアレントトレーニング④、施設長県外視察研修、テーマ別研修②、ストレスケア研修、全養協FSW研修、埼玉研セミナー②、武蔵野学院育ち育て研究発表会、社会福祉法人管理者研修、施設長職員合同研修②、新任研修③
3月	施設内学習会⑨、資生堂巣立ちフェスティバル

※施設内学習会①～⑨は新任職員対象に先輩職員や各専門職が講師を務め、社会的養護におかれている児童への理解を深める場とする。（毎週第3木曜日9～10時）

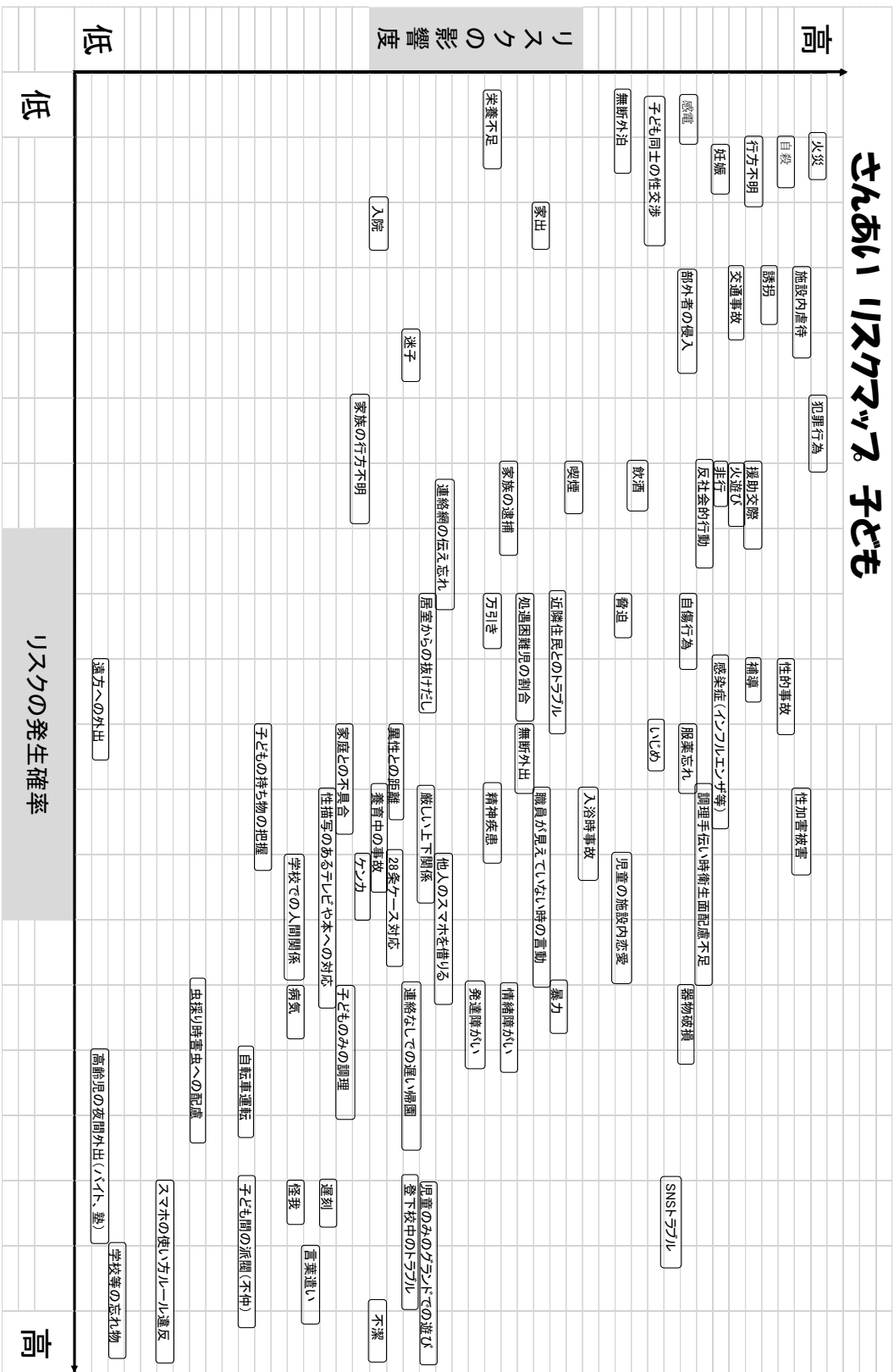
※園内研修①～④及びさんあいセミナー①は、当施設SVである藤井和子先生より、ペアレントトレーニングを基本とした、児童の自己肯定感を向上させるための養育力を養う場である。さんあい全職員対象の他、近隣の施設職員や里親さんへもご案内する。

※上記研修内容は事業計画上の予定である。職員に必要な研修があればその都度追加する。自己研鑽のため、自らが見つけ出した学びの場に対し、一人一万円まで研修費用として支給する。

児童の事故発生時の連絡体制



さんあい いすくろっく。 子ゼモ



私の28年度（成長目標、健康管理、夢など）

メモ欄

子どもたちの28年度が神様に守られて
豊かな年になりますように！



児童養護施設 さんあい

369-0212 埼玉県深谷市櫛挽15-2

電話 048-585-0605

Fax 048-585-0562

[Web サイト]<http://www.san-ai-jidouyougo.net/index.html>